

## 「介護現場のお困りごと」の一覧

お困りごとの解決につながる技術や、ビジネスプランをお持ちの企業等の皆様からのご提案を募集します。

ご提案いただける場合は、横浜市経済局ホームページからエントリーシートをダウンロードし、ご記入のうえご提出ください。

その後、当事業の受託事業者である株式会社シード・プランニングが、背景等の詳細情報をお伝えするとともに、製品開発やサービス創出に向けた試作品に対するアドバイスや、ビジネスプラン作成支援、介護現場における実証実験にご協力いただくための調整等の伴走型支援を行います。

詳細は、横浜市経済局ホームページをご覧ください。（横浜市経済局ホームページ）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/kenko-iryo/boshu.html>

(※)市内の特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅等の従事者の皆様に「介護現場のお困りごと」に関するアンケート調査を行いました。

### 特に多く寄せられたニーズ1 人手不足による負担増への対応【下表NO.1等】

人手不足による負担増等の意見を多くいただきました。  
AI・IOTの活用や、介助者の身体的負担等を考慮した製品・サービスの提案をお待ちしています。

### 特に多く寄せられたニーズ2 各種書類作成の負担軽減【下表NO.2】

介護記録等の各種書類作成の負担軽減に関する要望を多くいただきました。  
介護従事者の労働時間の1/3は、書類作成等の非介護従事時間という報告もあり、書類作成の効率化などによる負担軽減は大きな課題となっています。

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
1	介助負担	利用者の重症化や、人手不足による負担増が大きい。 入浴・移乗時に介護従事者の身体的負担が少ない介助支援機器や腰痛防止につながる製品が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット風呂釜に適応した小規模な機械浴装置</li> <li>・ベッドと連結固定し、移乗しやすい車椅子</li> <li>・移乗支援補装具(足腰の自立支援補装具)</li> </ul>
2	事務作業負担	介護現場における書類が多いため記録作業が多く、手間が掛かる。 事務作業・報告書作成作業の効率化・時間短縮・負担軽減をしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護書類の簡素化・電子化・タブレット端末を活用した介護記録システム</li> <li>・介護スタッフのシフト作成ができるツール</li> <li>・介護記録の音声入力及び定型フォームへの自動コンバート機能</li> </ul>
3	移動補助	歩行器の利用を避け、転倒を繰り返す例がある。 利用者の自尊心を傷つけず、見目が歩行器に見えないスマートな歩行器が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着脱しやすい下肢のみの支持装具</li> </ul>
4	移乗補助	移乗時、回転動作等が必要になり、利用者補助の負担が大きい。 ベッド⇄車いす移乗時に、利用者の身体状態によっては、必要となる方向の補助が異なるため、対応可能な製品が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都合の良い位置に動かすことができるベッドの補助柵</li> </ul>
5	排泄介助	ベッド上での排泄時の介助時間、洗濯処理の負担が大きい。 手間と時間がかからず、清潔を保てる機器が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド上で簡単に使用できる洗浄器具</li> </ul>
6	排泄介助	洗浄時の温・冷の2種類の洗浄液を混成する手間がある。 作業時間を短縮したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適温の洗浄液が出るボトル</li> </ul>
7	汚物の臭い対策	排泄介助後の汚物の臭いが気になる。 汚物を容易に封印する安価な商品が欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚物をシーリングする安価な部材・商品</li> <li>・汚物を真空パックなどで瞬時に消臭できるもの</li> </ul>
8	腰痛予防	入浴介助・排泄介助・移乗介助の時に介護従事者の身体的負担が大きく、腰痛になりやすい。 腰痛を予防・軽減する製品やサービス、介助支援機器。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価な腰痛予防ベルト</li> <li>・簡易に腰を持ち上げることができるような浴槽内のいす</li> <li>・介助の際、不良姿勢になったらアラームが鳴る機器</li> </ul>

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
9	介護コール	1人で夜勤の場合、複数の人からナースコールで呼ばれても同時に対応することができない。即時的に一次対応してくれるナースコールシステム。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「●分後に行きます」といったメッセージを伝えることができるシステム</li> <li>・ナースコールの種類や緊急度を判断するシステム</li> </ul>
10	介護用設備	入浴介助を中心に介助者のスケジュールが決定されるため、介助が必要な高齢者や障がい者の入浴機会が制限されている。重度介護者の入浴環境をより簡易に提供できると良い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易に導入できるユニットバスのような介護浴設備</li> <li>・後付けの入浴補助器具</li> </ul>
11	介護用設備	建築基準法や消防法指導による施設適正化に係るコストを削減したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の建物を高齢者施設などにリフォームする工法・企画のパッケージング</li> <li>・安価な火災報知設備や後付けスプリンクラーユニット</li> </ul>
12	車いす	車いすはスイングアウトする稼動部分の凹凸が多いためケガをしやすい。カバーやタオルを巻いて対応しているが見た目がよくない。ケガを防止する工夫(見た目もスマート)が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイングアウトする稼動部分でのケガを防ぐ工夫がされた車いす</li> </ul>
13	車いす	フルリクライニング車いすの移乗の際レッグレストが邪魔で移乗の負担になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッグレストが介助の邪魔にならない車いす</li> <li>・スイングアウトタイプのフルリクライニング車いす</li> </ul>
14	見守り	血圧が急上昇する「血圧サージ」などを定点観測的にバイタルチェックしたいが対応できない。バイタル情報を、安価に常時収集できる機器が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的なエビデンスが得られている安価なスマートデバイス</li> <li>・常時装着しなくても、ベッド横臥時に血圧・心拍数等がわかる装置</li> </ul>
15	見守り	生活エリアから出てしまったときの見守りが大変で負担が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットセンサーなどを活用し、ある特定のエリアから出たとき、センサーに連動してナースコールが鳴るようなシステム</li> </ul>
16	見守り	ベッドからずり落ちるなどの危険性があり、事前に防ぐ仕組みが欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠時、身につけるブレスレット型の見守りセンサー</li> <li>・ベッド下への赤外線モニターの設置による見守り</li> <li>・マットレス下への生体情報計測装置設置により、離床がわかるシステム</li> </ul>
17	見守り	夜間の巡視の際に、部屋の扉を開ける音や足音が発生し、入居者を起こしてしまう。入居者を起こさないように工夫したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開閉音が小さい扉</li> <li>・足音がしない床材</li> <li>・足音がしない介護用シューズ</li> </ul>
18	見守り	入居者が外出した際に、所在を確認したい時があるが、携帯電話に出ない限り所在把握ができない。入居者が外出した際に、所在確認ができる機器・システム。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS機能付きの外出時に装着してもらえるアイテム。</li> <li>・GPS機能がついた靴・杖</li> </ul>
19	見守り	1人で夜勤の場合、災害が発生したり、不審者が侵入するなど事件が起きた場合の対応ができるか、常に不安である。スタッフの夜勤時緊急対応等の不安を和らげたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備会社との緊急通報サービス提供会社との連携</li> </ul>
20	転倒予防	居室内で一人で動いて転倒してしまう事故が防ぎきれない。センサーやカメラなどを使って、徘徊や転倒を早く探知する製品が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症向け徘徊探知機</li> <li>・転倒予防に工夫された靴</li> <li>・離床センサー</li> </ul>
21	ケガ防止	ベッドや車いすなどに足や腕をぶつけてしまい、痛み・打撲・裂傷等のケガの危険性があり、それを防ぎたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面が柔らかい素材を使ったベッド柵や、車いす用手すり、フットレスト</li> </ul>
22	自立支援	ある程度自力で移動・移乗できる方の介護の必要度合いを把握する手段があると良い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力で排泄していることを把握する機器：ポータブルトイレの蓋を開けるとナースコールが鳴るシステム</li> <li>・ポータブルトイレ利用開始時のセンサー設置</li> </ul>
23	自立支援	服薬やトイレ誘導、オムツ交換等の短時間援助が多く職員の負担になっている。残存機能を生かして、一人でもできるように支援する製品が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも服薬ができる服薬支援ロボ</li> <li>・寝たきりの方の自動排泄処理装置</li> </ul>
24	自立支援	日中は車いすに座りっぱなしになってしまう方が多い。身体を動かしてもらうための工夫が必要。長時間の座りっぱなしを抑制する製品、または座りっぱなしを把握できる製品が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間座位が続くとアラームが鳴るセンサ（車いす等に取り付けられる）</li> </ul>

NO	分類	背景やお困りごと	解決できる製品やサービスの想定例
25	コミュニケーション	寂しさで一人で過ごすことができない利用者が何度もコールをする。職員不足で利用者を楽しませるレクリエーションなどに時間が費やせない。話し相手になってくれるロボットやレクリエーションに役立つ製品が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話しロボット</li> <li>・遠隔からでも会話ができるテレビ電話</li> <li>・飽きずに継続してできるレクリエーション製品</li> </ul>
26	営業活動負荷	レクリエーションの新規開拓に必要な営業に費やせる時間的余裕がない。また、営業に必要なノウハウ・スキルを養成する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業職経験者が活用できるサービスの創出</li> </ul>
27	情報共有	情報が全て紙で保管されていて物理的なファイルが多すぎる。出勤時に申送り情報の確認をはじめとして沢山のファイルを確認しなければならず、大変である。簡易に介護職員同士、多職種が情報共有できるシステム。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末やスマートフォン上で情報を簡単に確認できるシステム</li> <li>・紙媒体記録のPDF化及び、自動CSV化</li> </ul>
28	スタッフの教育	認知症の方が増加しているため、全体的に介助時間が増えている。一人ひとりに合わせた支援のために認知症に関する職員のスキルアップが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の利用者への支援を充実させるための職員向けスキルアップ研修</li> </ul>
29	スタッフの教育	外国人職員と、言語・文化の違いによってコミュニケーション、情報共有がスムーズにいかないことがある。教育体制・情報共有ツールの多言語対応が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人⇄外国人スタッフ間の情報共有を簡単にできる多言語対応の記録ソフト</li> <li>・外国人スタッフ教育用のeラーニングソリューション</li> </ul>
30	その他	夜間帯に、覚醒している利用者が寝不足となり、起床時間にスムーズに介助できなかつたり、スタッフの目が行き届かないことがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な睡眠を得られる寝具</li> <li>・正確な睡眠時間、睡眠の質がわかる装置</li> </ul>
31	その他	調理の効率化と質の向上を満たす調理機器がない。調理の効率化と質を向上させたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数十人分の調理を効率良く、おいしく提供するための調理機器や調理サービス</li> </ul>
32	その他	寝たきり度の高い方の体位交換による褥瘡、廃用症候群などの予防は難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡、廃用症候群などを予防するための血流や関節可動域に対するセンサーと機械的な体位干渉及びその結果をフィードバックする商品</li> </ul>
33	その他	身体の小さな利用者が食事をするとき、いすやテーブルの高さが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さが調整できる介護用のテーブル、いす</li> </ul>
34	その他	洗濯物を預かり、洗濯・干す・畳む、返却する過程で他の人の洗濯物と間違えてしまう。洗濯物の間違いを防止したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯した服等をたんすに収納したとき、他の人のものと間違えていたら音が鳴るシステム</li> </ul>
35	その他	ショートステイ利用者が自宅から出るとき、車いすでの出入りが難しい場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅が狭い場所でも、座って移動できる機器</li> </ul>
36	その他	利用者が痛みを上手に表現できず、例えば骨折していても職員が気づかないことがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痛みや体調の変化等を感知できるセンサー</li> </ul>

○注意事項

- ・伴走型支援を行う案件は数件程度を予定しています。
- 多くのご提案をいただいた場合、内部で審査を行い、支援を行う案件を選定させていただくことがあります。

○個人情報および提案内容の取扱い

- ・ご提出いただいた個人情報は、横浜市および受託者において、本事業に関する連絡に限り利用します。
- ・提案内容については、お困りごとをお寄せいただいた介護現場との調整のため、概要を外部に提供することがあります。

○本シートの著作権は、横浜市と(株)シード・プランニングに帰属します。

○当ホームページの情報を事前の承認なく、複製・配信等の行為をすることはかたくお断りいたします。